



懲罰や脅しでは 安全は守れない!

安全確立・不当処分撤回の闘いに対し、 JR西労の仲間へ激励・連帯!



2月21日、JR西労の組合員が岡山地裁に訴えている「岡山不当賃金カット裁判」が開催され結審しました。裁判前の2月18日、JR西日本会社は乗務員のミスで列車に遅れが発生させた場合、その時間を欠勤扱いとして処分していた取扱いを見直すという提案をしました。

原告の組合員は労働の実態があるのに賃金カットはおかしいと訴えていました。組合員の訴えによる労基署の是正

勧告をも無視した会社は「無価値労働」という表現を出しながらカットの不当性を認めていませんでした。会社は敗訴の色が濃くなると、「運用変更」をJR西労組と一体となって社会を欺く裁判対策を出してきました。

「運用変更」自体は、乗務員にとって改善策として一定、評価されるものであっても、これまでの会社の不当な対応がなかったものになるわけではありません。原告の組合員の勇気ある訴えと、仲間の闘いが会社をして「運用変更」せざるを得ないところまで追い込んだのです。まさに諦めない流されない闘いの成果です。

JR東海でも、ミスに乗じた処分、命令と服従の社員管理がまかり通っています。私たちは2月27日に開催した第27回地本委員会において取り組んだ激励の取り組みをJR西労本部へ届けました。

「懲罰」「ミスに乗じた処分」「命令と服従」では安全は守れない!